



◇学校教育目標◇

「考える子 思いやりのある子 がんばりぬく子」

城北小だより

5月号

令和5年4月28日

さいたま市立城北小学校

TEL 048-757-5391

児童数694名

交通事故にあわないために

校長 中村 篤

新緑の候、保護者地域の皆さまにはご健勝のことと存じます。また、日頃より、本校の教育活動へのご理解・ご協力を頂き、心から感謝申し上げます。先日の授業参観・懇談会にはたくさんのご参加をいただき、大変ありがとうございました。保護者の皆様の願いや担任の思いなど、伝え合うことができたのではないかと思います。また、役員を引き受けてくださった皆様には、大変お世話になります。何かお気づきの点などがございましたら、遠慮なくご意見をいただけると幸いです。

4月19日(水)、数年ぶりに全校児童が体育館に集まった「1年生を迎える会」を実施することができました。1年生は2年生が紙皿で作ったペンダントを首から掛け、6年生と一緒に手をつないで入場してきました。6年間でこんなにも違ってくるのかと、改めて成長の早さを実感するとともに、ほほえましい気持ちでいっぱいになりました。ゲームでは、学校に関する3択のクイズが出題され、大いに盛り上がりました。



最後に1年生全員による「一年生になったら」の歌と感謝の言葉を元気よく披露してくれました。これまで準備をしてくれた上級生の皆さん、楽しい会にしてくれてありがとうございました。1年生の皆さん、これからよろしくお祈りします。



4月25日(火)には、市民生活安全課の交通教育指導員の方を指導者として招聘し、1年生の交通安全教室を実施しました。校庭に止まれの標識や信号機が設置され、本格的な環境の中で横断歩道の渡り方を実際に体験し、学習しました。右手を挙げて「信号よし、右よし、左よし、右よし、信号よし!」と元気よく練習できました。また、トラックの内輪差による事故について、車と人形を使った実演で、左折する車に近づくことと危険であるということを学びました。最後に①交

通ルールを守る、②自分の命は自分で守る、ということを確認しました。保護者の皆様には、1年生だけに限らず、お子様とお出かけをする際に、標識の意味や横断歩道の渡り方、車の動きの特徴など、ぜひ一緒に確認してみてください。

小学生の大きなけがをする事故の原因としては、低学年ほど飛び出しによる事故が多く、高学年になるにつれて自転車での事故が多くなるそうです。道路交通法の一部改正により、令和5年4月1日から全ての自転車利用者に対し、乗車用のヘルメットの着用が努力義務化されました。しかし、「ママチャリ」といわれる自転車に乗っている人のヘルメット着用を見かけることはほとんどありません。ヘルメット非着用時の致死率は着用時に比べて約2.1倍も高くなっているそうです。「格好悪いから」「髪型が崩れるから」などの理由で着用せず、命を落としてしまつては後悔しても遅いかもしれません。大型連休を前に学校でも交通安全指導を行っているところですが、ご家庭においても交通ルールやマナー、ヘルメットの着用について今一度ご指導くださいますよう、お願いいたします。